

領域6 合同インフォーマルミーティング議事録

日本物理学会第80回年次大会

2025年9月18日(木) 12:30~13:30@広島大学東広島キャンパス SK307 会場

記録者: 徳本有紀

議題

1. 領域代表・副代表について(承認事項)

次期領域代表・副代表(2026/4-2027/3)について提案があり承認された。

次期代表 野島 勉(超伝導・密度波, 東北大金研)

次期副代表 田村 隆治(準結晶, 東理大先進工学部)

2. 領域運営委員について(承認事項)

次期運営委員(2025/10-2026/9)について確認がされた。

中島 陽一(液体金属, 熊大)

竹内 宏光(超低温, 阪公大)

次々期領域運営委員(2026/4-2027/3)について以下の通り提案があり承認された。

那波 和宏(準結晶, 東北大)

小森 祥央(超伝導・密度波, 名大)

3. 学生優秀発表賞報告

2025年春季大会の受賞者が以下の通り報告された。

準結晶

阿部 宇希(東理大先進工) 正20面体準結晶における反強磁性転移

超低温

土岐 吉生(阪公大理) 二成分混合ボーズ・アインシュタイン凝縮体の普遍的乱流状態

超伝導・密度波

品田 晃希(京大理) ヘリカル超伝導体における有限重心運動量に関する熱力学関係式

液体金属

伊藤海(熊大院自然) 第一原理分子分子動力学法に基づいた $\text{Ge}_x\text{S}_{1-x}$ ガラスの静的構造 III

4. 領域委員会報告

(1) 年次大会(2025年)企画提案の採択、物性領域プログラム小委員会採択結果についての報告

以下の通り、企画提案の採択結果が報告された。

- ・招待講演: 6件採択、0件不採択
- ・企画講演: 3件採択、0件不採択
- ・チュートリアル: 2件採択、0件不採択

- ・米沢賞受賞記念講演: 1 件採択、0 件不採択
- ・AAPPS-JPS Award 受賞記念講演: 2 件採択、0 件不採択
- ・シンポジウム(一般): 11 件採択、0 件不採択
- ・シンポジウム(共催): 2 件採択、0 件不採択

領域 6 関連の件数は以下の通りである。

(主領域)

- ・招待講演 1 件：領域 6, 領域 10, 領域 02
- ・企画講演 1 件：領域 6, 領域 10, 領域 02, 計算物理

(合同)

- ・シンポジウム(一般) 1 件: 領域 10, 領域 6, 領域 8
- ・シンポジウム(共催) 1 件: 領域 8, 領域 3, 領域 6

(2) その他

領域 web ページの日英併記の推奨について

- ・若手奨励賞や学生優秀発表賞の募集に際して、外国人会員に各賞のアナウンスが行き届いていない現状が大会運営委員会から指摘されており、可能な範囲で各領域 WEB ページの日英併記化を進めて欲しいとのことが周知された。
- ・物理学会ホームページについても各ページの英語化、および日英併記化を進めている。

2026 年以降のオンライン開催時のポスターセッションの在り方について

オンライン大会に関するアンケートの結果に基づき、「ショートプレゼン(+ブレイクアウトルーム)」の形式に変更することが承認された。

各講演者が Zoom で 1 分程度のショートプレゼンを実施後、個々のブレイクアウトルームにて質疑応答・議論を続ける形式を予定。

2026 年春季大会から実施予定。

何かご意見等あれば、意見を寄せて頂くよう周知された。

現地ポスターセッションの開催方法について

諸問題として、セッションの終了時間が遅い、閑散としている時間帯がある、展示のみの時間があまり機能していない、という点があった。

開催方法の変更

講演時間を①午前 10:00～12:00(※9:30～12:30 が掲示可能時間)、②午後 14:00～16:00(※13:30～16:30 同上)の 2 部制にすることが提案され、承認された。(現行大会で施行)

何かご意見等あれば、意見を寄せて頂くよう周知された。

5. 一般講演発表件数、講演概要集提出率

一般講演発表件数について、前回(2025 年春季大会 オンライン)は激減したが今回(2025 年年次大会 @広島大学)は回復したことが報告された。

領域 6：講演者数 129，講演概要提出数 126，提出率 97.6%

6. 学生優秀発表賞の実施要項について（審議事項）

現行の領域 6 の実施要綱内の文言のうち、5. 審査基準と採点の項目に関する修正案が提示され、その内容に関する議論が行われた。議論の結果、概要集原稿および講演の内容を総合的に判断するという文言へ修正する方向で、要綱の更新を進めることとなった。今後、引き続き検討を行い、ホームページにおける修正案の提示、次回のインフォーマルミーティングでの承認に向けた対応を進めることとなった。

7. 大会担当理事からのお知らせ・意見聴取

（1）80 周年記念国際シンポジウム開催(2026 年 9 月)のお知らせ

- ・ 日程、場所：2026 年 9 月 13 日（日）、東京大学駒場キャンパス
- ・ 国際的に活躍する研究者 10 名ほどの招待講演を中心に構成
- ・ 人選、参加登録などの詳細は現在、実行委員会で検討中

第 81 回年次大会（9 月 14 日～17 日、東大駒場）でも本シンポジウムと関連したサテライトシンポジウム（国際シンポジウム、4 本程度）を企画。形式は大会のシンポジウムと同じであるが、国外からの講演者の旅費等を学会が一部負担する。

本シンポジウムの講演者が固まった後、実行委員会でテーマを設定し、関連する研究者に企画していただくようお声がけ（2025 年 12 月頃）。→協力が依頼された。

領域から提案されるシンポジウムとのコンフリクトを避けるため、2026 年 3 月までにはサテライトシンポジウムのプログラム案を決定、周知する予定。最終的には 6 月の領域委員会で要承認。

（2）領域のあり方と現状の課題について意見聴取

大会担当理事から学会事務局を通じて、「領域のあり方と現状の課題に関する情報収集（領域 1 から領域 12 までの 12 領域が対象）・当領域の運営に支障があるかどうかなど、現状の課題・領域のあるべき姿についての意見・その他、領域制に関する意見」を IM で議論するよう依頼があった。現状の領域に対する問題点、再編をした場合に起こる利点・新たな問題点等に関する様々な意見が出された。その後、領域代表から学会本部からの情報として、領域の講演数目安が 100 件程度であることが補足され、9 月 29 日まで引き続き意見を受け付けることが周知された。

8. 国際学会などのお知らせ

- ・ 第 31 回渦糸物理ワークショップ(12/15-12/17)（超伝導・密度波）
- ・ QFS2026(量子流体・固体国際会議) (2026/8/2-8/8、アメリカ)（超低温）